令和７年４月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　　令和７年３月１７日（月）
２．開 催 日 時　　令和７年４月２３日（水）　１３時３０分～１５時４５分
３．開 催 場 所　　駐健保会館　４Ｆ　中会議室［東京都港区芝３－４１－８］
４．理 事 総 数　　２３人
５．監 事 総 数　　３人
６．出席理事数　　１５人（本人出席１５人）
７．出席監事数　　２人（本人出席　２人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、二瓶　啓、上島　健、川崎 一郎、秋山 正稔、冨居 博治、秦　研二、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋
９．出席監事の氏名
熊木　宏、山口 直延
１０．出席組合員の氏名
石井　均
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　組合員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、組合員１社から３月末での脱退届を受理し脱退手続きを行ったことの報告があり、３月末で組合員数７８社、賛助会員数４３社、計１２１社になることの説明があった。

組合員：株式会社東洋冶金　代表取締役　西尾 陽子 氏

嶋崎議長は、賛助会員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　第５４回通常総会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、開催日時、場所、当日のスケジュール及び提出議案等について説明があった。

第５４回通常総会　日時：令和７年５月２２日（木）１４：００～１５：２０
場所：レベル２１東京會舘

続いて、提出議案について第５４回通常総会資料案に基づき、第１号議案令和６年度事業報告承認の件、第２号議案令和６年度決算関係書類承認の件、第３号議案令和７年度事業計画案及び令和７年度収支予算案、経費賦課および徴収方法の件、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案役員選挙の件を上程することと総会終了後に１５：３０～賛助会員 PR 会と１７：００～懇親会を予定していることと総会及び賛助会員 PR 会と同会場で懇親会を行うため、賛助会員 PR 会終了後に会場を一度退室し、模様替えを行うことの説明があった。

続いて資料に基づき、第１号議案、第２号議案及び剰余金処分案についてそれぞれ詳細な説明があった。

熊木監事から、本日（４月２３日）午前に行われた令和６年度監査会の結果について適正に執行されていた旨の報告があった。

嶋崎議長から剰余金処分案の表記について質問があり、安室専務理事から、法律に基づいた表記になっていると報告があった。

嶋崎議長から、講習会の参加者が少なく、受講料収入が減っているので、受講料の値上げを検討したいということなのかと質問があった。また後藤理事から、講習会の会場費や講師謝金等の経費を踏まえて予算を立て、それに対して受講料から最低参加人数を算出していると思うがどうなのかと質問があった。

安室専務理事から、令和６年度に受講料の値上げを実施し、なおかつ経費を抑えるために会場費用の安い会場利用を行ったが、極端に受講者が減ってしまったことと費用の安い会場は、抽選による申込みによるなど不確定要素が大きいことの説明があった。

嶋崎議長から、早目にアンケートを実施するなどして参加の見込みを把握するしかないと意見があった。

田村理事から、ハイブリッド開催に拘らずに講習会によってオンライン開催で行うなど棲み分けしても良いのではないかと意見があった。

嶋崎議長から、時代にあった形に修正対応して行くことが必要と述べられた。

続いて嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、第３号議案令和７年度事業計画案、令和７年度収支予算案及び経費賦課および徴収方法について説明があった。

嶋崎議長から、事業収入の講習会参加料が令和６年度実績より増えている点について質問があり、安室専務理事から、初級熱処理塾のスポット受講の分を加味していることの説明があった。

田村理事から、初級熱処理塾は今年度から週２日で５週行うことになっているが、ハイブリッドではなくオンライン開催にしたら良いのではないかと意見があった。

南副理事長から、役員の企業から積極的に受講者を派遣して欲しいと述べられた。

嶋崎議長から、剰余金が出来るならば、教育用のビデオの作成にも使えるようにしたいことと組合事務所についても老朽化しているので、タイミングで売却の検討もしないといけないと述べられた。

玉木副理事長から、以前不動産業者に調べてもらった内容について報告があった。

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、飯田職員の定年を向かえることについて報告があった。

嶋崎議長から、６５才となっている再雇用年齢の引き上げも検討して行きたいと説明があった、

後藤理事から、就業規則を改定する必要があるのではないかと質問があり、嶋崎議長から次回以降の理事会で検討して行きたいと説明があった。

続いて嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案役員の選挙の件ついて説明があった。任期満了による役員改選があり、指名推薦による選挙が行われることの説明があった。

最後に総会終了後に賛助会員 PR 会を行い、１７時から懇親会を予定していることの説明があった。

嶋崎議長は、第５４回通常総会について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　令和７年度行事予定について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき令和７年度の行事予定について報告があった。新年賀詞交歓会については、令和８年１月２０日（火）に５月２２日（木）の第５４回通常総会と同じレベル２１東京會舘で開催すること。

理事会は、昨年実績を踏まえ、年６回の開催予定し、第２回以降は下記の通り。

第２回：令和７年　５月２２日（木）対面開催　レベル２１東京會舘
第３回：令和７年　７月２３日（水）Web 開催
第４回：令和７年　９月１９日（金）対面開催　暑気払い（会費制有志参加）
第５回：令和７年１２月　３日（水）Web 開催
第６回：令和８年　１月２０日（火）対面開催　レベル２１東京會舘

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、３月１４日に開催された令和６年度第３回青年部会について、議事録に基づき説明があった。昨年１２月に実施した「出前授業」と１月に浅川熱処理株式会社で実施した自社での「出前授業」について意見交換を行った結果、「出前授業」として①企業（個社）に来てもらう、②企業が学校に行く、③青年部会が行くの３つパターンが良いと意見がまとまり、令和７年度は「出前授業」に注力することになったことと関東経済産業局から「出前授業」を行う学校の紹介について協力可能と連絡を受けていることの説明があった。また令和７年度については、今まで通り４本の柱（①講演会・セミナーの開催、②熱処理業界のPR、③関東経済産業局との連携、④メンバーからの提案）を基軸として活動することと１０月２９、３０日開催の「組合まつり」については、「出前授業」で行っているような実習の実施について検討することになっていることの説明があった。

熊木監事より、資料に基づき、自社で実施した「出前授業」について説明があった。２時間枠で講義と実習と工場見学、そしてリクルート情報の提供まで行えたこととアンケート結果も高評価だったことも説明があった。来社したのは、工業高校の生徒で「熱処理」を授業で習っているが、実際に話をすると良く理解していないことが分かった。最終的にリクルートに繋がると考えられるので、是非各社で取組められればと述べられた。

嶋崎議長から、知己に富んだ良い内容で各社で取組むべきだと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、２月１３日開催のマーケティング委員会について議事録等に基づき説明があった。委員会の主な内容については、①第７回価格交渉サポートセミナーについて（内容及びアンケート結果等）、②令和７年度の事業計画について（年５回開催、価格交渉サポートセミナーの開催等）、③売上高調査結果及び自主行動計画フォローアップ調査結果、④市場動向に関する情報交換について。

価格交渉サポートセミナーについては、グループディスカッションが毎回似た内容になっていると意見があったので、来年度内容について検討することになっていることの報告があった。

続いて３月７日開催の第４回総務委員会について報告があった。主な内容としては、①２月４日開催の「カーボンプライシングセミナー」について（アンケート結果、来年度の取組について）、②令和７年度の事業計画について（年４回開催、セミナー等）、③日本金属熱処理工業会「外国人技能実習制度の実績について」（東部エリア実績：３社６名、１社組合員、他は非組合員企業）

続いて３月１３日開催の第４回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。主な内容については、①サブリーダーの選出（武藤工業株式会社 取締役 松川正伸氏）②メンバーの事業所、設備等上昇取集のアンケートの作成について、③西部組合の２０１７年の台風被害の状況及び対策ついて、④令和７年度事業計画案について。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、４月１日付けの関係官庁の人事異動について報告があった。

続いて、第９期製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」が、定員２０名（組合員１３社１７名、一般２社３名）で今週２６日（土）に開講式でスタートすることの説明があった。

次に「初級熱処理塾」を秋開催としたことで、今回トライアルで開催することになった「新入社員向け講習会」の１回目が先週１８日（金）６名参加で開催し、２回目を今週２５日（金）６名参加で行うことと１回目のアンケート結果から、高評価を得ていることの報告があった。

藤田理事から、東京都立産業技術研究センターの中村主任研究員にほとんどお任せした感じになっている。定員８名として６名だったので、時間もペースも丁度良く、教える側と受ける側の距離も近く、話をしながら出来たので、良かったと思う。２回目も参加者の感触・感想を聞きながら行いたいと述べられた。

最後に第４４回日熱会が令和７年１０月２日（木）、３日（金）、当番幹事：西部組合で行われることの報告があった。南副理事長から TN 会について説明があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、曽根副理事長より閉会を告げ、散会した。

令和７年４月２３日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　冨居 博治　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　山口 直延　㊞